

# 玉湯を愛し社会を切り拓く 人づくりをめざして ～みんなで作る笑顔の公民館～



松江市玉湯公民館

# 事例発表の主な内容

- 1, 松江市公民館の概要
- 2, 玉湯公民館の運営方針、組織
- 3, サークル団体の特徴的な取組
- 4, 青少年育成の取組
- 5, ボランティアグループ「たまゆメンバーズくらぶ」

# 松江市 玉湯地区の概要



- 平成17年3月 松江市と合併
- 人口・世帯数（令和4年5月末現在）  
人口 7,263人 世帯数 3,029世帯（3年間で年間約100世帯の増）
- 義務教育学校「玉湯学園」（児童生徒数760名）令和3年開校  
幼稚園1、保育園2

# 松江市公民館の概要

- 指定管理制度による**公設自主運営方式**  
各地区運営協議会が松江市から指定管理者として受託  
(地域住民が主体となって、地域の実情に即した特色ある取り組みを展開)
- 松江市内に29館 おおむね小学校区に1館程度
- 職員体制：4名 館長…松江市非常勤特別職  
職員…地区運営協議会雇用**正規職員**  
(主任1名、主事2名)  
**※主任は社会教育主事講習修了が要件**
- 休館日：年末年始、土日祝日
- 予算：人件費：全額市費  
管理費・事業費：6～7割市費、残りは受益者

# 玉湯公民館の沿革等

- ◆ S55. 1月：玉湯町中央公民館竣工
- H17. 3月：玉湯町が松江市と合併
- H19. 12月：島根県教育長優良公民館表彰受賞
- H22. 4月：公設自主運営方式へ移行
- H25. 4月：地区社協事務局の公民館移行
- H26. 4月：地域諸団体事務局の公民館移行
- H27. 6月：複合施設として改修(28.3完了)
- H28. 3月：文科省優良公民館表彰最優秀館受賞
- H29. 6月：公民館中庭「たまひろば」オープン

◆ 組織：運営協議会委員29名、専門部員66名

◆ 職員：館長(松江市非常勤特別職)  
主任1名、主事2名

◆ 令和3年度年間利用者数： 32,409人  
(令和元年度44,460人)



# 令和6年度 玉湯公民館 運営の基本方針

**基本目標**：玉湯を愛する人づくりや地域づくりをめざし、地域住民が学び、つながり、集える拠点となるよう、笑顔あふれる公民館運営を行う。

**重点目標**

玉湯の公民館像  
(めざす公民館像)

スローガン

みんなでつくる笑顔の公民館

地域に根ざした事業の実施と活動の支援。

地域に根ざした学習講座・事業の展開と充実。

学校等と連携した玉湯を愛し誇りに思う青少年の育成。

地域づくり：学びと活動を生かした明るく元気なまちづくり。

安全・安心のまちづくり。(あいさつ運動・防犯パト)

人権尊重と・福祉の増進による住みよいまちづくり。

# 玉湯公民館の組織

公民館運営協議会

専 門 部

総務部

運営協議会、広報活動、センダンまつり

青少年育成部

宿泊研修、ものづくり体験、防パトロール、子ども会、たまめん

文化部

文化祭、サークル諸団体、生涯学習講座、音楽の集い

福祉  
人権学習部

社会福祉協議会との協働、福祉活動、人権研修

体育  
レクリエーション部

ウォーキング諸大会、体力チェック等

環境部

公民館内外の環境整備、喫茶玉つばき等

# 玉湯公民館 専門部の活動

総務部：運営協議会総会



文化部：たまゆアカデミー（成人学級）



福祉人権学習部：人権学習会



体育レク部：ウォーキング大会





# かせん 花仙クラブ(教室サークル)の活動

29の教室サークルのべ368名が  
定期的に活動を展開



# 玉湯公民館の特徴的な取り組み例

## • 公民館環境部 ボランティア喫茶「玉つばき」

- H22.4月から地域住民の憩いの場、情報交換の場として毎週火・水・金曜日の10:00～15:00実施。スタッフ17名。
- 公民館の環境整備や、地域のボランティア活動の中核を担っている。
- R6年度11月 累計来場者数 10万人（年間平均 約5,500人）
- うたごえ喫茶、うたごえサロンなど独自の事業や健康相談、子育てわいわいサロンと共催し、住民の憩いの場となっている。



# 玉湯地区の青少年育成



# 玉湯地区の青少年育成の考え方

地域の子は地域で育てるという  
共通認識を持った取り組み

- 学校や諸団体と連携して地域の個性を活かしたふるさと教育・キャリア教育を展開  
→ ふるさと愛と自立心を育てる
- なによりスタッフ、参加者が楽しみを感じられる活動を展開すること

# 玉湯町子ども会連合会

## ■ 家族ふれあい・ふるさとものづくり教室



玉湯の人材と資源を活用した体験活動  
豊かな人間性、郷土愛と参加者・家族  
の親睦を育む。

- 陶芸体験
- パンづくり教室
- ウォーキング大会 など

## ■ ジュニアリーダー育成研修



リーダーシップ  
や自主性を育て、  
友達との親睦を  
深める。

## ■ そのほか、単位子ども会活動支援

# 玉湯青少年育成協議会

## 主な取組…

### ■ テレビを消して家庭の日

- ・のぼり旗の設置、告知放送での啓発
- ・テレビを消して家庭の日の集い講演会の実施



### ■ 広報啓発活動

- ・あいさつ運動、社会を明るくする運動など

### ■ 青少年の自立と社会参加活動支援

- ・たまめん・子ども会活動等の支援

### ■ 社会教育諸団体連絡会

- ・青少年関係団体との情報交換会

# 玉湯てらこや

- 地域住民等との交流を図りながら、子どもたちの学習意欲の向上と学力育成をめざす。
- 小学生約30名が登録  
毎週月曜日 15:40~17:00
- 中学生約20名  
中間及び期末テスト期間 4日間  
休日及び平日 1回あたり2時間程度
- スタッフ指導員 10名



# 発達段階に応じた青少年活動

## ■小学生（1～6年）

- 交流を通して集団生活のルールを理解する
- 体験活動を通して豊かな心を育てる

## ■中学生（7～9年）

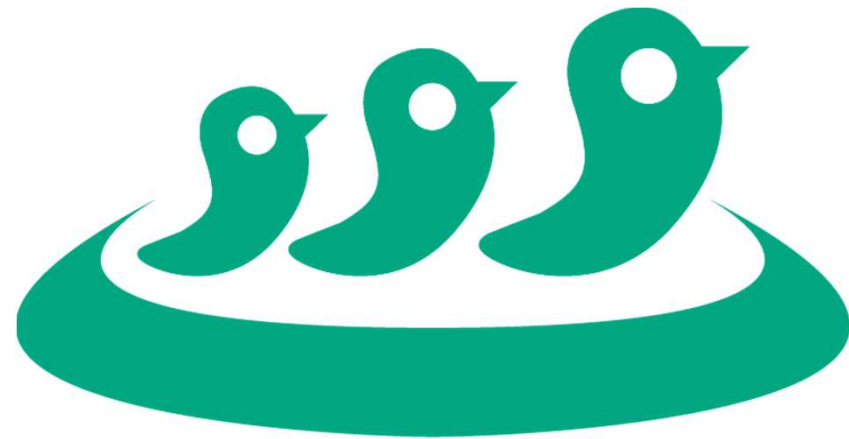
- 多世代とのコミュニケーションを通して社会性を育てる

## ■高校生

- 社会活動への参画を通して他者に貢献し、自分の将来について考え、主体的な行動を促す



# たまゆメンバーズくらぶの 取り組みについて



た ま め ん

メンバー考案のたまめんロゴマーク。玉湯の特長の温泉をモチーフに、3羽の雛鳥は成長して巣から飛び立つ様子と活動理念の「3つの柱」を表している。

# たまゆメンバーズくらぶの概要

## たまゆメンバーズくらぶ（通称:たまめん）

玉湯町の青少年が互いに親睦を図りながら、地域の方々とともにまちづくりに関する事業を企画・実行または補助し、**地域活性化**と**自己実現**を目指すボランティアグループ

### 【構成】

玉湯町の中・高校生・学生を中心とした青少年

会員数118名（令和6年5月現在）

（高校生5名）

1回あたりの参加会員数

5～10名




# たまめん誕生のきっかけ：文化祭

- 平成17年まで…賑やかだが若者の姿が少ない



- 平成18年 玉湯中に文化祭参画を呼びかけ

 **参加中学生スタッフ募集**

松江市玉湯公民館

玉湯の秋を彩るお祭りとして多くの町民に親しまれている「**たまゆ文化祭**」では、玉湯中学校生徒の皆さんにお手伝いボランティアを求めています。中学生の皆さんの協力をいただき町民に喜ばれる文化祭にしたいと考えています。

募集の内容は下記のとおりです。ご協力をよろしくお願いいたします。

記

**日程** 平成18年10月28日(土)~29日(日)

**内容例** 茶席、ドーナツ販売、喫茶コーナー、絵本読み聞かせ、子どもあそびの広場、パソコンコーナー、苗木コーナー、管理補助など

**申し込み締め切り** 6月30日(金) 担任の先生まで

\*詳細については公民館までご連絡下さい。(☎62-9111)

公民館の強い呼びかけと学校の配慮で

文化祭2日間のうち、  
**1日目を「出校日」**  
2日目はボランティア  
として希望者が参加。

模擬店への出店、発表、展示、イベントのサポート。

**※現在は、玉湯学園において  
文化祭初日が出校日になっている。**

# たまゆ文化祭に向けて



文化祭前に中学校へ訪問



模擬店試作会



文化祭前に公民館職員が中学校を訪問し、ボランティア活動の意義を3年生に説明

たまめんは中学生をサポートし、模擬店を切り盛りする大きな戦力

大人スタッフが食品の取り扱いや礼儀作法、コミュニケーションを指導

# たまゆ文化祭（模擬店運営・出演）



# たまゆ文化祭に参加して

「大変だったが、地域の方々と触れ合うことができ、やりがいがあった。」

「充実感があった。」 「楽しかった。」

「勉強になったこともたくさんあり、地域の方々の温かさを感じた。」

「来年も機会があればまたやりたい。」



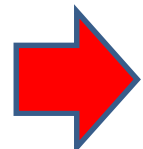
「中学生の姿が本当に良かった。」

「町が生まれ変わり生き返ったようだ。」

「玉湯の町はじまって以来の賑わいだ。」

「中学生を見る目が変わった。」

**「ふるさと玉湯のために何か役に立ちたい！」**



# 平成19年9月 たまめん結成

(平成20~22年 島根県 実証! 地域力醸成プログラム モデル公民館指定)

毎月第1日曜に定例会を開催  
 行事の計画や振り返り、学校生活の  
 話など自由な雰囲気で行っています。



## 若い力で地域おこし

高校生が推進クラブ結成



### 天体観測など計画案も

#### 松江・玉湯

若い力で地域おこしに「役買おう」と、松江市玉湯町の高校生が「たまゆめメンバーズくらぶ」を結成。五月から毎月定例会を始め、初めての会合では小学生との交流会をもちづくりのアイデアを出し合い、大人たちの期待を集めている。

同くらは昨年九月、玉湯中学校出身の高校生一、二年生の三人で発足した。中学時代に町の文化祭を出店したメンバーが、地域の人のふれあいの楽しさを体感。高校に進学してから「地元のために何かしよう」と集まったのがきっかけ。

初の定例会では、小学

公民館の岩田善男館長は「将来的には公民館活動のサポートもしてもらいたい」と目を細める。同くらは代表の松江南高校二年、坂本哲さん(18)は「活動を活発にし、もっと地域の人と交流したい」と意気込んでいる。

2008年(平成20年)5月27日(火)  
 山陰中央新報

# たまめんの活動理念

自分たちが楽しみながら、地域貢献、自己実現の機会にする

たまめんの  
「3つの柱」  
  
(活動理念)

みんなと  
仲良く率  
先して  
取り組もう

地域に必要と  
されるたまめん  
をつくらう

地域に貢献して  
元気を与えよう



毎月開催している例会では、事業の企画運営や事業の反省などについて話し合います。  
趣味特技を活かして地域を盛り上げようとメンバーからの発案でダンスやバンドなどもしています。



# たまめん入会の流れ

玉湯学園9年生の卒業前に学校へ訪問し、勧誘活動を行っています。  
3月に交流会を実施。毎年新しいメンバーが加入しています。



## 新入生歓迎パーティー



# 主催事業・公民館共催事業



# 玉湯学園へボランティアの声がけ



旧玉湯小を活用した「せんだんフェスタ」



模擬店の収益を学園に寄贈

○たまゆ文化祭後に行われた「せんだんフェスタ」模擬店に中学生ボランティアが参画。

○たまゆ文化祭とせんだんフェスタの売上金を7, 8, 9年生生徒の前で贈呈。

# 取組のポイント

- 持続可能な活動のために

- 活動の意義を十分に理解してもらうこと

- メンバーだけでなく保護者や学校、地域など活動の意義を理解してもらうために都度話し合いを実施

- 活動の振り返り場面をもつ

- 事業の前後に検証して次につなげる仕組みづくり（例会や反省会などを利用する）

- メンバーが楽しさを感じられること

- 参加は強制しない、学校生活やその他の社会活動でいろいろな経験を得ることも重要。メンバーの意見を尊重して企画内容や時間帯を設定し、参加しやすい、魅力的な活動を展開する

- 財源の確保

- 地域の活動で模擬店を出店し、自己資金を得ることで、補助金に左右されない安定した活動を実施。収益の一部は中学校の教育活動や義援金として寄付

# 成果と課題

## ■ たまめん結成前後のイベント等 事業参加者の推移

	平成18年 (たまめん結成前)	令和元年
玉湯青少年育成協議会役員数	37 人	61 人
家族ふれあい教室(参加者)	98 人	526 人
文化祭入場者数	2, 100 人	4, 500 人
文化祭ボランティア数	98 人	402 人

【成果】 ○中・高校生が地域で活躍し、大人も関わることで町が活気づいた。学校と地域の連携が一層強くなった。  
○子ども・若者たちが、役立ち感を得て自己成長できた。ふるさとへの愛着をもつことができた。

【課題】 ○学校での部活動や進学、就職に向けた活動等との両立。(見通しと体制の改善)  
○活動機会の確保。  
○後輩を育てつなげる持続可能な玉湯学園との連携強化、サポーター等の維持。

# 今後の展望

## 社会人となった「たまめん」

令和3年8月に7人が発起

T-ails(テイルズ)  
誕生！



T:たまゆ & たまめん  
ails:翼 & 羽ばたく、英語のyell

- ★ たまめんの社会人として やりたいことを
- ★ たまゆメンバーズくらのサポートメンバーとして できることを

【期待すること】○「楽しみながら、地域貢献と自己実現」を共有し、さらなる、地域課題の解決につながる研鑽と実践を。

(人との絆づくり、まちづくりの視点をもつなど)

○玉湯を切り拓くT-ailsの取り組みによって、地域の人づくりの好循環を生み出していきたい。

中学生→たまめん→T-ails→地域貢献の大人→住みよく子育てしやすい玉湯→子ども→中学生

○ふるさと玉湯を愛する人に。

地域と世界の未来を切り拓く人材に。

